



吃音を知る・かかわる

吃音児のよき理解者になるために

言語発達セミナー

日時

平成 30 年 8 月 22 日(水)

午前の部 9:30～12:00

午後の部 13:30～16:00

場所

県営福祉パーク

磯城郡田原本町多 722

申込み

メールにて申込み

締切日: H30.8.10

申込内容は裏面に

定員

定員: 各 40 名

定員になり次第、締め切りとさせていただきます。

参加費

無 料

未来の子供たちのために

講師

奈良県総合リハビリテーションセンター

言語聴覚士 秋田靖子

100人に1人が吃音と言われています。学童期には、ほとんどの吃音児が、発話の問題に気づいており、人前で話すことに少なからずとも不安や恐怖を感じています。また、これらの不安に打ち勝つために本人なりに多くの努力をしてきた背景があります。しかし、周囲がその人の努力を理解せず「頑張ったら大丈夫」・「気持ちの問題だ」・「緊張させないように知らないふりをしよう」などと誤った解釈と対応を取り、かえって不安を強くしてしまうことがあります。このような問題を未然に防ぐためにも吃音の歴史や研究を共有し、よき理解者を増やしていけたら幸いです。是非、教育現場で吃音の子供達が楽しく学べる場所を提供できるようにご協力ください。

主催: 奈良県総合リハビリテーションセンター リハビリテーション科 言語聴覚部門

～吃音児の理解者となるために～

「様子を見ましょう」「たいしたことないから気にしないで」こう言われて困ってしまう吃音の子どもがたくさんいます。また、「お子さんに意識させないようにしましょう」「お母さんのしつけが厳しすぎるのでは？」と間違っただviceを受けて悩む親御さんもたくさんおられます。「本人に意識させないように」かつてはこう言われた時代もありました。しかし今は就学時にはほとんどの吃音の子どもが、自分の吃音に気付いているという調査結果が出ています。高学年になると「仕事に就くことができないのではないか」「結婚することができないのではないかと悩む子どももさえます。子どもが自分で気付いて悩んでいる吃音のことを「意識させないように大人が知らんぷりをする」のは、子どもに「あなた一人で悩みなさい」と言っているのと同じことなのです。100人に1人いる吃音者、学校に数名はいる計算になります。それほど出会わないとしたら、吃音の子が吃音を隠そうとがんばっている証拠かもしれません。「授業中当てられてもわからないぷりをする」「言えないことばを言いやすいことばに言い換える」というのは、吃音を持つ多くの子どもがしている学校生活の中での工夫です。吃音の子どもが、もっとのびのびと自分の話したいことを話せる環境を一緒に作りませんか？

講習会では

(1)吃音を正しく理解する

症状について動画で学んだり、吃音児の気持ちについての理解を深めます

(2)吃音児への支援方法

学校生活の中での具体的な支援方法や、流暢性形成訓練についてご紹介します

(3)保護者への指導方法

保護者から相談があった場合の具体的支援の内容をご紹介します

(4)クラスでのトラブル対処法

吃音はクラスでのからかいやいじめの対象となることがあります
環境調整のためのヒントをご紹介します。

申込方法 メールアドレス nararehast@gmail.com

① 氏名 ②施設・学校名 ③職種 ④午前か午後の部の希望を記載

参加の可否についてはメールにてご返信させていただきます。

※ 送信後、5 日以内に返信がない場合は、メールの受信設定をご確認の上、再度、お申し込みください。[締切日 平成 30 年 8 月 10 日]